

【様式1】 協働による社会課題解決の取組の内容

取組の名称	用水路の清掃
28年度募集テーマ	<input type="checkbox"/> 『笑顔』 <input checked="" type="checkbox"/> 『場づくり』
テーマとの関連	<p>町内会はなにををするところ。今町内会の存在が問われていると思う。住民同士の繋がりが希薄になる中、その行事及び活動は多方面に渡ります。それを実行する役員は、主に年配者が活動をささえています。</p> <p>町内会が活動を持続するためには、若い世代の協力が欠かせません。いろんな行事、活動を行う事で町内会への理解が進むことを願っています。町内会の行事、活動の具体例について一端を紹介すると</p> <p>主な活動として、バス旅行、お祭りがあります。バス旅行は親睦を深め一日おしゃべりをしながら、食事を共にするなど楽しいが一過性のものです。お祭りは町内会員が境内の掃除、やぐらの組み立て、電気の配線、露店の設営など大人が行い、子供は行燈の作成特に、だんじりの運行はそろいの法被に豆絞りのハチマキ、祭り衣装でだんじりを引き、太鼓をたたき姿にお母さん方はじめ皆が笑顔になります。</p> <p>お祭り当日は町内会員はもとより、地域に縁のあった者などがお宮に集うものです。</p> <p>一大行事として町内の絆を深める恒例のイベントです。</p> <p>片や用水路清掃は美しい町づくりを目標に、町内会員が一体となる場づくりです。皆が共同の作業をすることにより、一体感が生まれ従前とは改善された結果に達成感を覚えます。ひいては町内会活動にも反映され、子供たちを見守る防犯パトロール、ゴミステーションの管理及び日常のゴミ出しなど、環境全般に対する意識の高まりがみられます。</p>
目的・解決をはかりたい課題の状況・目標	<p>町内の用水路は、一部を除きほとんどが雨水、生活雑排水路として町内を流下するものです。元々水田農業が盛んであった頃農地へのかんがい用水路として設置されたものです。</p> <p>明治以降の管理は公図によれば、青線水路いわゆる官有地第三種、国有地でした。時代と共にその管理形態は変遷現在に至っています。</p> <p>水路の日常の維持、管理を行う事は相当の労力を必要とし、まして用途の不確実な市街地ともなればなおさらです。</p> <p>かんがい用水を目的に造られたものだけに、水路の構造上勾配の緩やかな所、せき上げ及び分水などの施設が存置、場所によっては宅地造成時に個人が補強するなど各所に通水不良が生じ、流れが停滞する箇所もあります。</p>

	<p>又増水時に基幹となる水路から逆流するなどの状況がみられます。</p> <p>水路の合流、曲がり箇所には土砂が堆積し、夏季ともなると水草が茂り通水に支障を生じていました。所々の汚泥からは悪臭が漂い、加えて蚊など不快害虫の発生原にもなっていました。</p> <p>其の上空き缶、ペットボトル、古着などの投棄がみられ、まして魚など見かけることも無く「こぶな釣りし彼の川」など程遠く、水路清掃は誰しも思っていました、その対応は水路隣接の住民が自主的に行っていたもので、個人の作業能力にも限度があります。誰からともなく、清掃の気運が高まり町内会有志による作業が開始されました。</p> <p>しかしながら、大変な重労働で年配者を主にした町内会員による作業に苦慮していました。</p> <p>折から、岡山大学の地域支援の一環として、体育系サークルによる取り組みが始まった。状況を説明すると快諾を得、支援を受ける事ができました。いまや町内会の行事として定着し、綺麗な町づくりの一環となっています。いつまでも継続されることを願っています。</p>
取組の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 取り組みの対象：対象地域、対象者、対象人数等 清掃対象の用水路 延長 約300m 2 取組の担い手：取組への参加団体、参加人数 町内会員有志約40名 岡山大学学生 12名（平成28年度） 3 活動内容、実施方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 作業の概ね1か月前町内会役員会を開催し、水路清掃の趣旨及び概要を説明後、回覧文書作成町内全戸へ案内します。参加者を取りまとめ人数を把握します。 ・ 水路清掃に必要な資材（土のう袋、ビニール袋）、器材（スコップ、ジョレン、一輪車、鎌、箒、軍手）数量の確認を行います。足りないものは調達します。 ・ 区役所担当係あて、作業の日時、集積場所を連絡土のう袋等の撤去片付けを依頼します。 ・ 支援の岡山大学の学生さんへ実施日時、集合場所及び作業内容について連絡、参加サークルと人数の確認を行います。 ・ 一週間前の天気予報により、当日雨天でない事を確認実施を決定します。 ・ 参加者と清掃箇所の関連、年代及び男女別による作業の分担並びに役割を決めます。 ・ 参加人数分のお茶を注文します。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 用水路を現地踏査して、土砂の堆積、雑草、水草繁茂の状況及び土砂仮置き場を見廻り不都合は無いか確認します。 ・ 作業の前日倉庫から器材を集合場所へ運び、点検を行います。 (ジョレンのネジ、スコップの金具の緩み、運搬用一輪車タイヤ空気圧、草刈り鎌を研ぐ) 不具合があれば事故に繋がりにかねないので、丁寧に行います。また町内会所有の器材では足りない場合、個人所有の器材を借用します。 ・ 作業当日は8時30分町内の参加者、学生さんの集合を確認します。 各人の作業装束、長靴を現認、軍手を配布簡単な挨拶と作業手順を説明します。特に鎌の使い方は、必ず刃先を先に出せば、手を切る事は無い、など具体的に草刈りを行い説明、安全第一で作業をして下さい。 と伝えます。 ・ 水路の場所により3班編成とし、町内会員、学生さんの人数構成と作業工程により、割り振りを決めて資器材を携行各現地へ赴きます。 ・ 作業は用水路の中へ入り、水路底へ堆積した土砂をスコップ、ジョレンで土砂仮置き場へすくい上げます。土砂仮置き場の無い所は直接土のう袋へ入れます。これを水路底から水路天端まで約1m、両手でつかむ、水がしたたり落ちる。腰より高い所まで持ち上げる土砂は、約15kgこれが最も力を必要とする作業です。屈強な学生さんをお願いします。 ・ 土のう袋へ入れた所で、素早く口を縛ります。縛り方が緩いと運搬の途中、片付け時こぼれ出す恐れがあるため縛り方を説明します。単純な作業ですが、ひもなど結んだ経験の無い者には、意外と難しく注意を要します。 ・ 一輪車に3, 4袋を積み込んで約50kg、運搬します。 持ち上げる力、押す力のバランスが必要、約100m離れた集積場所迄運搬します。集積は車両等の通行に支障が生じないように積み上げます。 ・ 約1時間経過したところで、休憩です。9月末まだ暑い、額の汗をぬぐう、泥が飛び散って衣服が汚れている。女性の方がお茶を手際よく配付、参加者学生さん共々しばしの間歓談です。 ・ 土のう袋等足りない箇所へ余裕のある所から運んでもらいます。 女性に依頼します。 ・ 各班から作業の進捗状況等の報告を受けて、作業量の多い所へ他班より応援を要請します。 ・ 清掃範囲の作業が無事終了したことを確認、撤収します。思わずお疲れ様と挨拶すると自然に笑顔。
--	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅門口で手など洗って、談笑後学生さんにお礼を述べ散会です。帰って行く学生さんの後ろ姿に、学生生活を楽しんで下さい。卒業後は大きく羽ばたいて、時には清掃の事を思い出して欲しいなど、朝からの作業を思いうかべ見送った。 ・ 使用した器材を洗浄、点検及び乾燥後倉庫へ格納します。
協働の体制	<p>町内会の組織は、規約に基づき会長、副会長、会計、監査、及び世帯平均で選出された組長、専門部として婦人部、児童部、青年部を設けそれぞれに応じた活動を行います。</p> <p>総会において、年間の事業計画、それに伴う予算の編成を行い、選出された役員が中心となり、具体的な行事及び活動を行います。</p> <p>秋に用水路の清掃を町内会で行う事、実施に伴う経費の支出などを説明、参加を呼び掛けます。</p> <p>一方、岡山大学の学生さんには大学関係者を通じて、支援の要請を行い清掃の日時、作業内容を説明参加をお願いします。</p> <p>サークルと人数の確認等打ち合わせの上、約1か月前に連絡を行います。</p>
取組の工夫 取組の特徴	<p>◎ 地域資源や人的資源の活用など工夫した点</p> <p>参加者の年齢、体力に応じた作業配分また、参加者の住居と用水路の位置外個別の事情を考慮するなど、状況の詳細を熟知した者を配置、効率を図ります。</p> <p>学生さんは町内会員との共同作業に、日常の学生生活と異なり恐らく初めてであろう作業は、異次元の世界従ってお互い意思疎通が図られるように、サークルごとの配置による安全性を考えました。</p> <p>◎ 取り組みの特徴やアピールポイント</p> <p>用水路の清掃作業はいわゆる汚い、重たい、きついこのような経験の無い若者に果たして出来るであろうか、ジョレン、スコップなど手にした事も無く今後も土のう袋を提げる、一輪車を押す事など無いと思われる若者から支援を受ける事が可能であろうか、当初一抹の不安はありました。それが杞憂であったことに気づいたのは、途中見回りをした時でした。</p> <p>町内の参加者の大半が年配者であり、学生さんとの共同作業は、若者と触れ合う機会の少ない者にも数少ない経験です。</p> <p>休憩時に年配者から話しかけると、学生さんにやや緊張の様子が伺えます。清掃作業が終わった数日後、回覧文書を配布する際清掃作業に話が及ぶと、「来年も学生さんには、きてもらえるのかなあ」と言う声が聞かれました。後日、支援頂いた学生さんの感想を聞くと、良い経験でしたとの事でした。</p>

<p>成果・効果</p>	<p>清掃による直接の効果は、4、5日もすると清掃前のよどんだ流れは、澄んだ水に流れが変わり、よく見ると小魚が泳いでいます。</p> <p>今年、初夏のころ水路の合流する所に、くちばしの黄色い水鳥が2羽泳いでいました。初めて見る鳥で散歩中の方が、かる鴨だと教えてくれました。生き物は正直です。当日清掃作業に参加出来なかった者も、清掃が学生さんの支援により行われた事は、承知しています。これらの事から水路へゴミ等を捨てる行為も見受けられず、又環境美化に対する意識の高揚は、町内会で年間4回実施している廃品回収、月2回の資源化物収集などの協力が進みました。</p> <p>余談ですが、平成25年6月、町内会のバス旅行は福山市内の食品容器会社に於いて、使用済みトレーの再生、循環の仕組みを見学、以後、スーパー等に使用済みトレーを持参する際、洗って仕分けする。食品を購入する際はトレーを見る習慣になりました。</p>
<p>今後の活動展開など展望</p>	<p>用水路清掃後、水路を小魚が泳ぐなどの具体的な成果を目の当たりにすると、達成感を覚えます。</p> <p>岡山大学の学生さんには、今後も支援をお願いしたい。感謝です。</p> <p>町内会員は年々歳を重ねます。</p> <p>それは体力にも関係するなど、参加者の減少にも繋がります。</p> <p>このことから、清掃活動を今後も継続するためには、青壮年の参加者を増やすことが課題です。</p> <p>安全・安心のネットワークが必要とされる今、地域において町内会が果たす役割を考える時、住民の協力が欠かせません。町内会活動が住み良い町作りの一助となりこの地域、この町に住んで良かったと感じてもらいたい。</p>

地域清掃 活動報告書

岡山大学剣道部

- **参加内容** 津島土生町の清掃活動
- **活動日時** 9月25日（日）
- **参加町内会** 津島土生町
- **参加人数** 4人
- **活動内容** 排水溝の泥を土嚢につめ、運搬
- **感想**

町内会の方々と協力しながら作業を行い、特にトラブルもなく順調に行えたように思える。清掃後に町内会の方々との会話の機会もあり、そこで清掃から数週間で魚が泳いでいると聞き、この活動の意義を見つけることができた。清掃日が部活動のオフの時期だったので、帰省していた人も多く遠方から来た人もいたので、来年はもっと部内で連携をとっていきたい。

地域清掃 活動報告書

岡山大学柔道部

○**参加内容** 津島土生町内会の用水路の清掃

○**活動日時** 平成 28 年 9 月 25 日

○**参加町内会** 津島土生町内会

○**参加人数** 5 名

○**活動内容**

- ・用水路の泥を取り除き、その泥を土のう袋に入れ指定場所への運搬作業
- ・雑草を抜いた
- ・用水路の壁面の草などを取り除いた

○**感想**

今回の地域清掃に参加し、清掃を開始する以前は泥が溜まり汚れていた用水路が、清掃後には水が流れ綺麗になったのを目にして、清掃に参加して良かったと思った。また、あまり力にはなれなかったが津島土生町内会の方々から「ありがとう」と感謝の言葉を言って頂いた時は嬉しかった。清掃中は地域の方々の様々なお話が聞けて良かった。

また地域清掃の参加者の大半は高齢者が占めていたので、もう少し若者の力が必要だと思った。

地域清掃 活動報告書

○ **参加内容** 岡山大学周辺の地域清掃

○ **活動日時** 平成 28 年 9 月 25 日

○ **参加町内会** 津島土生町内会

○ **参加人数** 3 名

○ **活動内容** 側溝の清掃

○ **感想**

清掃活動を行うにあたって、必要な道具類の準備をしてくださったおかげで作業がスムーズに進み、とても助かった。また、作業中に飲み物をくださったり、作業後にも全員にパンと飲み物をくださったりして、とても感謝している。

作業中は、私たちにいろいろ話かけてくださり、明るい雰囲気作業を進めることができた。会話の内容は、主に大学生活の話だったが、作業中ほとんど会話が途切れることはなかった。また、わからないことがあっても丁寧に対応してくださり、安心して行動できた。

全体を通して非常に明るいムードで作業を行うことができた。また、同じ地区で清掃活動ができればありがたいと思った。

